

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成29年10月5日 (2017.10.5)

【公開番号】特開2016-61991(P2016-61991A)

【公開日】平成28年4月25日 (2016.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2016-025

【出願番号】特願2014-190851(P2014-190851)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1333 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

G 0 2 F 1/1333

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月23日 (2017.8.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

表示モジュール 5 0 N は、映像を表示する。フレーム 1 1 N は、表示モジュール 5 0 N を保持する。フレーム 1 1 N は、表示装置 1 0 0 N の縁の部分に設けられるフランジフレームである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

カラーフィルタ基板および T F T 基板の各々は、ガラスなどで構成される絶縁性基板である。カラーフィルタ基板は、基板上に、着色層（カラーフィルタ）、遮光層、対向電極等が形成されたものである。また、T F T 基板は、基板上に、薄型トランジスタを含む画素電極等が形成されたものである。以下においては、薄型トランジスタを、「T F T (Thin Film Transistor)」ともいう。T F T は、基板上に設けられたスイッチング素子である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 2】

フレーム 1 1 A が、フレーム 9 と係合するフレーム 7 に固定されるように、ねじ N J 2 が、穴 1 1 h , 7 h , 9 h に挿入される。すなわち、ねじ N J 2 により、フレーム 1 1 A と表示装置 1 0 0 A とが締め付け固定される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 1 5 】

本実施の形態では、実施の形態 1 の表示装置 1 0 0 に固定構成 S T c を適用した構成について説明する。図 8 は、本発明の実施の形態 2 に係る、固定構成 S T c を適用した表示装置 1 0 0 の断面図である。固定構成 S T c では、フレーム 1 1 に、溝 V 2 が設けられる。溝 V 2 は、硬化性樹脂 3 2 を使用して、フレーム 1 1 を筐体 1 2 に固定するための溝である。硬化性樹脂 3 2 は、硬化性樹脂 3 1 と同じ性質を有する部材である。